

安心して暮らせる環境のため  
今ある課題の解消を



民主緑風会  
高谷真一郎 議員

議員 消防団詰所にはWi-Fi設備がない。災害情報収集能力強化の面と、災害発生時に電話・ファクス回線が断線した場合等に備えて、消防団詰所へのWi-Fi環境の早急な配備が必要だ。所見を伺う。

市長 各分団でインターネットを活用した情報収集を行っている場合もあると考える。ニーズの把握に努め、必要があれば適宜整備したいと考えている。

議員 高齢等の理由で、庭木の手入れが行き届かず、枝が公道に伸び通行の妨げになる状況等がある。管理者の義務を定めた道路法第44条の規定に基づき、危険箇所を沿道区域として指定する条例を制定すれば、市は管理者に対して改善命令や行政代執行も可能となる。また、道路法第44条は、老朽化した擁壁等も想定しており、通学路や緊急



子どもたちが健やかに学べる  
学校環境を保障せよ



日本共産党  
紫野あすか 議員

議員 新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校の教室については、できるだけ身体的距離を取れる環境を保障することが必要と考える。学校の教室においての身体的距離がコロナ前と同じであることについて所見を伺う。

教育長 学校は施設面において限られており、直ちに身体的距離を確保した環境を実現することは難しい。議員 一人一人の子どもの教師の目も心も行き届く少人数学級は、子どもたちのことを第一に考えたものである。コロナを踏まえた新



しい生活様式としても、今こそ少人数学級を行う必要があると考える。市長の所見を伺う。

市長 子どもたちの学びの保障及び感染症予防の観点から、少人数学級は大変有効なものと考える。

議員 少人数学級を行う必要性について、教育長の所見を伺う。

教育長 感染症拡大防止及び学習指導において、一定

コロナと自然災害の複合化  
避難の在り方を問う



日本共産党  
前田 まい 議員

議員 昨年の台風第19号による豪雨災害の後、大沢地域において避難所以外に避難した在宅避難者などの把握調査を実施したか伺う。

危機管理担当部長 把握調査は行っていないが、在宅避難者は多くいたと考えている。現在、要配慮者の把握方法も含め支援の在り方の検討を進めている。

議員 避難所となる施設を増やすべきと考える。旧ごんぐり山や野川周辺の施設と避難所提供の協定を結ぶことの検討状況を伺う。

市長 旧ごんぐり山の一部を一時的な避難スペースとして活用することを検討中だ。その他の民間施設とも協定を締結し幅広い協力体制をつくっていききたい。

議員 本市に所在した保健所は1997年に武蔵野市



の効果があると認識している。学級の規模の見直しは当然であると考える。

議員 少人数学級実現のためには、教師の人員確保が必要と考える。教師の数を大幅に増やし、教師が落ち着いて一人一人の子どもの向き合えるゆとりが必要と考える。所見を伺う。

教育長 教員の働き方改革の観点からも、大変重要なことと認識している。

議員 防災行政無線や地域に密着した警戒安全情報を発信するため、株式会社エフエムむさしのとの防災協定を結ぶとともに、ラジオを配布してはどうか。

危機管理担当部長 過去に検討した結果、締結に至らなかった経緯があるが、再度相手方と話しができればと考えている。ラジオの配布については費用対効果等を見極め検討したい。

議員 避難所におけるPCR検査は検討しているか。

総務部長 自宅療養者が来た場合の検査等について議論しており、保健所も検討を進めている。情報連携し対策に万全を尽くしたい。

その他の質問 災害を防ぐための環境保護について

市民の命と健康を守るために  
本市に保健所設置を



日本共産党  
大城 美幸 議員

議員 本市に所在した保健

と統合され、2004年には府中市と統合された。このことによる市民生活への影響について所見を伺う。

市長 本市に保健所がないことによる全体のデメリットはあるものと考えている。

議員 コロナ後の市民の健康と命を守る上で、専門的知見を持つ保健所の役割は重要だ。本市への保健所設置を都に求めるべきだ。

市長 多摩府中保健所管轄区域内6市全体の利害と関わりがあるため、本市だけ

で判断はできない。議論しながら進めていきたい。

議員 多摩府中保健所が管轄する地域の面積や人口規模について伺う。

保健医療担当部長 総面積は96・10平方キロメートル、6市の合計人数は108万

2千700人と都内最大であり、各区域のうち最も人口の多い地域に属していることは承知している。

議員 市内の児童・生徒が新型コロナウイルスに感染している。保健所職員が専門的立場から保育園等へ指導・助言するのが当然と考える。本市の指導・助言に係る対応を伺う。

子ども政策部長 新型コロナウイルス感染症対策における保育の基本的な考え方を策定し、市内保育施設へ周知した。感染症に関する相談には保健所等に確認をしながら保護者等へ具体的な対応を助言している。

議員 保育園等の令和3年4月入園の一斉手続きは従来の対面方式ではなく郵送での受け付けを予定している。申請する保護者の利便性につながる取り組みとして今後も続けるべきだ。

市長 今年度の実績を検証し検討していきたい。

議員 育休延長を目的に申請をする保護者もいる。保護者の意思を判別できるような対応を検討するべきだ。

子ども政策部調整担当部長

を

を検討するべきだ。

教育長 学校医の意見や校案された方向で検討する。

議員 内閣府が発表した第1四半期のGDPの速報値は戦後最大の落ち込みとのことだ。コロナ禍で大幅な

税収減が想定される中、予算編成方針において一律のマイナスシリングでの対応ではなく、政策的な経費、新規事業に伴う経費を一旦見合わせる姿勢を明確に打ち出すべきと考える。

市長 全ての政策的な事業を一律なくすということはできないが、大幅に少なくする方向で、予算編成方針の中で明確にしていくこと

所見を伺う。

市長 慎重に議論を進め、予算編成の施政方針でしっかりと方向性、あるいは変更点を打ち出していく。

議員 児童のランドセルが重すぎると聞く。児童・生徒の荷物の軽量化について一層の配慮を求めます。

教育部長 児童・生徒の負担軽減に向け、適切な配慮を図っていく。

議員 感染症に伴う学級閉鎖による学習機会損失を補填するため、オンラインにより自宅学習できる仕組みを構築していただくことが重要と考える。見解を伺う。

教育長 学習動画の作成を試験的に開始しており、来年度以降の運用に向け準備を進めている。

議員 コロナの影響で運動や社会参加の制限が続く中、高齢者のフレイル(健康と要介護の間)予防が一層重要となっている。再度広報で特集するなど、感染対策をしながらのフレイル予防の普及啓発をすべきだ。

市長 予防には日々の対策の継続が大切だ。今後も普及啓発に努めていく。

議員 来年4月を目標とする保育所待機児童解消に向けた取り組みを伺う。

子ども政策部長 1歳児の入所枠の拡充や待機児の把握方法の工夫に取り組む。

長会の意向などを確認し提案された方向で検討する。

議員 市長は三鷹駅前地区における再開発事業などの実施を選挙公約に掲げ当選したが、その当時と現在とは状況が全く異なる。当該再開発事業をはじめとした各事業については、このコロナ禍において市民生活を守ることを重視し、緊急性があるものを除き、一旦立ち止まるべきと考える。所見を伺う。

市長 慎重に議論を進め、予算編成の施政方針でしっかりと方向性、あるいは変更点を打ち出していく。

議員 児童のランドセルが重すぎると聞く。児童・生徒の荷物の軽量化について一層の配慮を求めます。

教育部長 児童・生徒の負担軽減に向け、適切な配慮を図っていく。

議員 感染症に伴う学級閉鎖による学習機会損失を補填するため、オンラインにより自宅学習できる仕組みを構築していただくことが重要と考える。見解を伺う。

教育長 学習動画の作成を試験的に開始しており、来年度以降の運用に向け準備を進めている。

議員 コロナの影響で運動や社会参加の制限が続く中、高齢者のフレイル(健康と要介護の間)予防が一層重要となっている。再度広報で特集するなど、感染対策をしながらのフレイル予防の普及啓発をすべきだ。

市長 予防には日々の対策の継続が大切だ。今後も普及啓発に努めていく。

議員 来年4月を目標とする保育所待機児童解消に向けた取り組みを伺う。

子ども政策部長 1歳児の入所枠の拡充や待機児の把握方法の工夫に取り組む。

議員 コロナの影響で運動や社会参加の制限が続く中、高齢者のフレイル(健康と要介護の間)予防が一層重要となっている。再度広報で特集するなど、感染対策をしながらのフレイル予防の普及啓発をすべきだ。

市長 予防には日々の対策の継続が大切だ。今後も普及啓発に努めていく。

議員 来年4月を目標とする保育所待機児童解消に向けた取り組みを伺う。

子ども政策部長 1歳児の入所枠の拡充や待機児の把握方法の工夫に取り組む。

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を